



# スクールリポート

▶ 学校教育課  
☎23-3679

学校生活の  
一コマを  
紹介



## 「つなげる・つたえる」 ふるさと学習

衣笠小学校



● 紙芝居「江崎巡査物語」上演



● 宝守会の方と看板づくり

衣笠小学校では、「ふるさと学習」を進めています。一昨年度の6年生が、本校の伝統劇である「江崎巡査物語」の紙芝居を完成させ、昨年度の6年生が紙芝居を引き継ぎ、効果音などのアレンジを加えました。2月には、田原福祉センターを利用する方々に、紙芝居を披露しました。学校以外で紙芝居を披露することは初めてでしたが、校区外の方々にも江崎巡査の生き方を知っていただける良い機会となりました。

1年生は生活科で校区を流れる清谷川のホタルに関わってきました。地元のホタルを守る宝守会の方と協力して、川の清掃やカワニナ(※)に餌をあげました。

また、川をきれいにするためには地域の人たちの協力が必要なおことに気づき、清谷川にすむホタルを守るための看板の設置もしました。

学んだことを次の学年の子どもが引き継ぐ(つなげる)、学んだことを他の学年や保護者、地域に発信する(つたえる)、地域の教育力(人・もの・こと)を活用した「ふるさと学習」に今後も取り組んでいきたいと考えています。

※カワニナ…ホタルの幼虫の餌となる巻貝の一種



## 「家庭・地域と連携」 つなげる食育をめざして

田原東部小学校

本校では、「つなげる」をテーマに家庭・地域と連携しながら食育体験活動を行っています。「食育」とは、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための学習です。

第1回の学校保健委員会では、「一杯のみそ汁キャンペーン」を実施し、「家庭で作れる簡単みそ玉」の作り方を、野菜ソムリエ「ベジエール渥美」の方から教えていただきました。参加した児童や保護者が実際にみそ汁を作り、できたみそ汁をおいしそうに飲む姿が見られました。

第2回の学校保健委員会は、「みそ汁とライスボールで、はなまる元気の術」をテーマに、朝食についてみんなで考えました。その後、5年生が収穫した新米を分けてもらい、おにぎりを作って食べました。みんなで一緒に作ったおにぎりは、とてもおいしく感じ、自然と笑顔の輪が広がりました。

「おいしい」「楽しい」という思いを、みんなで共有体験することができる食育体験活動は、子どもたちにとって、自然と笑みがこぼれる楽しい活動となりました。これからも、学校と家庭・地域が連携し食習慣について学んでいきたいと思ひます。



● ベジエール渥美の方と一緒に



● 笑みがこぼれる子どもたち